

いきいき男女共同参画

「父親を楽しもう！」

「パパカをアップして男性も人生を楽しむ方法」

父親の子育て支援・自立支援事業を展開するNPO法人「ファミリーリンク」の代表の安藤哲也さんの講演会を開催しました。要旨は次のとおりです。



△自らの経験と会の活動を熱く語る安藤さん

「父親の子育て支援・自立支援事業を展開するNPO法人ファミリーリンク」の代表の安藤哲也さんの講演会を開催しました。要旨は次のとおりです。

一番気になる言葉が「手伝うか」です。手伝う感覚ではなく、常にパートナーと一緒にやろうという意識が必要です。「コップの水に気づく」

コップの水に気づく

妻の不満もいきなり爆発するものではありません。コップに水が少しづつ溜まっていくんです。それが溢れると悲惨なことになります。

ママの育児を奪うものではなく、ママをケアして、ママを認め

てあげる。すると子育ても楽になり、楽しくなる。そういう環境をつくるのが夫の役目、仕事です。

自分の時間は

子どもが生まれたら自分の時間はなくなるという質問が、多くの新米パパたちの悩みです。子どもと一緒にいるのも自分の時間、家族との時間も

子どもが生まれたら自分の時間はなくなるという質問が、多くの新米パパたちの悩みです。子どもと一緒にいるのも自分の時間、家族との時間も

子どもができた

この小さな命を守るんだという覚悟とそれができる時間を確保することです。子どもができたらOS（父親ソフト）を入れ替えましょう。それは、畑の土と同じで、土が古いと、作物が育たない。健康な土にするのと一緒に。

手伝う

妻が、夫の言う言葉の中で、

自分の時間です。自分だけの時間を求めようとするのなら、何でも家庭を持ったということですから。この人と一緒にいるかどうかを決めたのだから、その責任はあります。

よい環境に

お金だけでは、子どもは育てられません。（お金も必要ですが一番大事なのは時間と、父親母親の仲がよい環境です。あるいは地域がそれを支えられるシステムがあるかです。段取り、働き方を少し変える。あなたが動く職場がよくなっています。後継者に続く後輩たちも楽になります。あるいは子どもの世代が楽になっていく。一人ひとりのアクションが社会を変えるのです。

参加者の感想（▼男性▽女性）
▼自分の考え方がすごく変わりました。子どもを通しての地域活動をこれから大切にしていきたい。家族に笑顔が！
▼家族との絆の大切さを感じた。普段からコミュニケーションを家族ととっていききたい。
▽今までの子育てを認められ理解してもらったようで嬉しかった。
▽ハツとすることがたくさんありました。自分自身と家族の人生に生かしていきたい。
▼自分の子育てで勘違いしていた部分があった。やつてみようと思う事柄がいくつもあつた。

瑞穂地区男女共同参画学習会のお知らせ!

「ワイワイ一緒に村づくり」
とき 9月14日(水) 午後6:30～8:10
ところ 瑞穂地区活性化センター 入場無料
講師 フリージャーナリスト 内山二郎さん
※ご近所お誘いあわせのうえ、お出かけください!
お問い合わせ 瑞穂地区活性化センター ☎ 65-2501
人権政策課男女共同参画係 ☎ 62-3111



© 段丹映子 無断転用を禁ず
どこの家でもありがちなことかな? 男の子、女の子関係なく誰でも、得意な分野ってありますよね。

未来利用団体研修視察

「研修を通じて広がる学びの輪」

「駒ヶ根女性ふれあい館をたずねて」

夜中から大雨で明日はどうなるのかと心配していたが、雨はあがり一安心、一路今日の研修場所「駒ヶ根女性ふれあい館」へと車が走る。市民ホール（970席）、勤労者青少年ホーム、女性ふれあい館、一つの建物の中にあり利用しやすい建物となっていました。

また周りは良く整備された公園になっており、文化会館、図書館、博物館と総合施設として利用しやすいように出来ていました。周りには、北アルプス、南アルプスと日本を代表する山々に囲まれてすばらしい所でした。10時半頃到着、女性ふれあい館の前には5、6人の人達がバスから降りる私達を笑顔で迎えて頂き何か親しみを感しました。会議室に通されそこで各サークルの人達が20人も出席してくださいました。何にか緊張して話した体かほぐれ自然に話を聞いたり、こちらからも話かな時が過ぎました。駒ヶ根ふれあい館もた



△駒ヶ根ふれあい館利用者と交流

相手の気持ち、立場にたって

ホームヘルパー2級養成講座 ～基本介護技術講習はじまる

6月から始まっているホームヘルパー2級養成講座の基本介護技術講習が8月1日から始まりました。初日は、社会福祉協議会介護保険事業所の介護福祉士を講師に、基本介護技術の講習を行いました。講習では、ボディメカニクス※の原則を用い、実際に介護する側、される側にも負担をかけずに、体位姿勢交換、移動ができることやその都度、声かけをする必要性があることなどを学び、される側の立場も体験しました。9月からは、実際に施設講習をする予定です。

※『ボディメカニクス』・・・力学的原理を活用した介護の方法のことで、最小の労力で介護すること。



▶ 真剣なまなざしで見つめる受講生たち

一歩、一歩着実に・・・

日商簿記3級講座はじまる

6月から、全24回コースで開講した日商簿記3級講座。講師に社会保険労務士の江村登三男氏をお迎えし、財務・会計の基礎知識と電卓記号の活用方法など簿記の知識やノウハウをわかりやすく教えていただいています。回を重ねるごとに難しくなってきた、ついていけるか心配? という受講生の声もありますが、なんとかこの夏、がんばってやりぬいて、さらなるスキルアップを期待しています。検定試験日は11月20日(日)です。

女性センター未来を利用して みませんか

女性センター未来では、働く女性、働きたい女性を応援します。様々な立場の女性のみなさんが、気持ちよくご利用いただけるよう、癒しの場となるようみなさんの声をお聞きしながら事業をすすめていきたいと考えます。やってほしい講座などありましたら女性センター未来までご連絡ください。

いいやま女性センター未来 ☎ 62-0543

人権政策課男女共同参画係
電話：0269-62-3111
FAX：0269-62-5990
(内線 371)
E-mail：
jinken@city.iiyama.nagano.jp

いいやま女性センター未来
飯山市大字飯山 1431
電話・FAX：0269-62-0543
E-mail：
center-mirai@city.iiyama.nagano.jp